











**Fig. 3a and b** Change of sputum culture in patients with SBS by EM. Before EM treatment, 6 kinds of bacteria were detected in all patients. After EM treatment, no bacteria were detected in 11 of 19 patients.

*Pseudomonas aeruginosa*; *P. aeruginosa*. *Staphylococcus aureus*; *S. aureus*. *Haemophilus influenzae*; *H. influenzae*. *Klebsiella pneumoniae*; *K. pneumoniae*. *Streptococcus pneumoniae*; *K. pneumoniae*. *Branhamella catarrhalis*; *B. catarrhalis*.

頭重感においてスコア 2 以上の異常を呈したものは 6 例であり、そのうちスコア 1 以上の改善を認めたものは 5 例であった。全体としてのスコアは  $1.67 \pm 0.90$  から  $1.20 \pm 0.41$  に有意 ( $p < 0.05$ ) に減少した [Fig. 6(e)].

### 考 察

DPB に対する EM 療法の効果については、少なくとも本邦では、ほぼ確立されたといってよい。DPB 症例では、EM 投与により臨床的に以下の効果が認めら

れると報告されている。すなわち、1) 自覚症状としては、喀痰量の減少と労作時呼吸困難の改善が、EM 投与後 1 カ月程度の比較的早期にみられ、2) 胸部 X 線写真では、粒状影、過膨張所見、およびトラムラインの改善が認められる。また、3) 肺機能では肺活量や FEV<sub>1</sub> の増加、および残気率の低下が認められ、4) 動脈血ガス分析ではほとんどの症例で酸素分圧の上昇が認められる。さらに、5) 寒冷凝集素価が低下し、6) 細菌学的には、EM が殺菌的に作用しないにもかかわらず、喀痰細菌叢の改善が認められる<sup>8)</sup>。ただ、DPB の











